

TVセッターシェルフ TVSSH101

組み立て説明書

ご注意

当組み立て説明書をよく読んでから、組立作業を行ってください。



当商品は組み立て式です。作業に際しましてはお怪我や大切なテレビ・お部屋にキズをつける事の無いように、十分ご注意くださいようお願い申し上げます。組立不良・取り付け不良、および天災等による落下等については、一切の保証はございませんので、ご了承ください。

- 必要な部品が揃っているか、ご確認ください。
- ボルトやワッシャー等のねじ類を含めた部品の取り付けは、正確に行ってください。
- 設置にあたっては、十分な作業スペースを確保してください。
- 以下の場所には設置しないでください。
 - ・湿気や温度の変化の激しい場所
 - ・人がぶら下がったり、寄りかかったりするような場所
 - ・振動などがある不安定な場所
- 電源コードや配線に傷を付ける事の無いように注意してください。火災等、事故の原因になります。

●こちらの商品は強化ガラスを使用しています。

強化ガラスの特性として、許容以上の熱衝撃や衝撃、深いキズが付くと割れて粉々になります。直射日光、高温多湿の場所には置かないでください。キズが入った状態で長期間ご利用いただくとキズの進行により自然破損する可能性があります。万一破損した場合、破片が細かい粒状となり飛散することがありますので十分ご注意ください。

設置にあると便利な道具

- 1) 間柱センサー - 壁裏にある間柱を見つけるのに便利です。細い針やキリを壁に刺して代用する事も可能です。
- 2) ドライバー - ネジ頭のサイズに合わせて、数種類があると便利です。
- 3) ドリルドライバー - 電動ドライバーです。手回しのドライバーでも設置可能ですが、あると非常に便利です。
- 4) メジャー - 床からの距離を測ったり、金具の水平を取る場合などに使用場合があります。
- 5) ペン - 壁にネジを打ち込む位置を確定した時にマーキングします。テープ等でも代用可能です。
- 6) 柔らかい布 - 設置の過程で、床やテーブルなどにテレビを置く事になります。下に敷いてテレビを保護します。

1		ガラスシェルフ	1
2		アルミ支柱	1
3		アルミ支柱ショート	1
4		アルミサポートカバー	2
5		サポートカバー	2
6		ガラスシェルフ用 アルミカバーヘッド	2
7		メタルパイプ用スクリュー	2

8		接続メタルパイプ	2
9		六角ネジ用レンチ	1
10		ラグボルト	4
11		コンクリートアンカー	4
12		壁面プレート	1
13		接続ネジ	4
14		ラグボルト用ワッシャー	4
15		ドライウォールアンカー	4
16		M4x30 Bolt	4

個人取り付けについて

ご注意



当商品は、DIY（日曜大工）が得意な方でしたら、慎重に作業すれば設置可能です。しかし、組立・取り付けの不備による事故について保証はございませんので、作業に際しましては十分にご注意くださいますようお願い申し上げます。
基本的には、お近くの内装業者・電設業者様へ依頼をされる事をお勧めします。

組立不良・取り付け不良、および天災等による事故等については、一切の保証はございませんので、ご了承ください。

※少しでも取り付けに疑問が生じた場合は、必ずお近くの内装業者・電設業者様にお尋ねください。

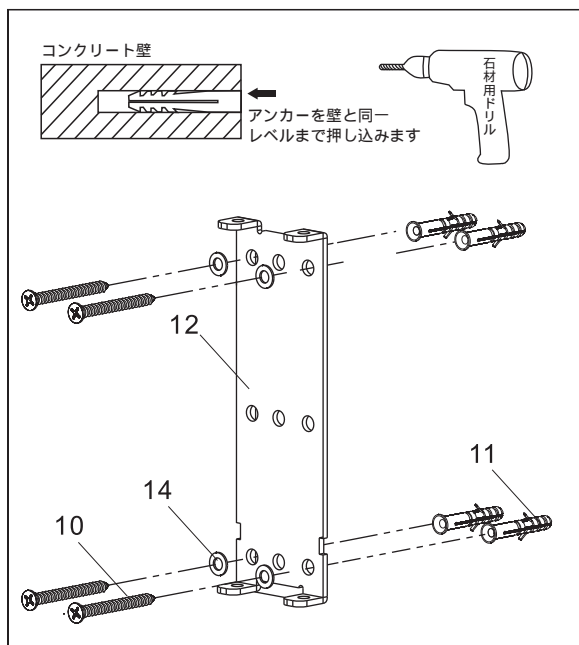
商品には、基本的な必要ネジ類が付属されています。しかし、壁の状態によって別途、アンカー等が必要な場合があります。

その場合、お客様（販売店・施工店様）がご用意の上、確実な設置を行うようお願いいたします。

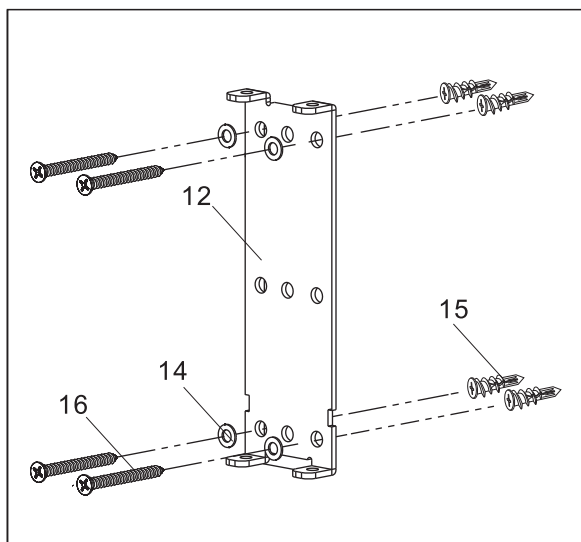
ステップ1 壁への取り付け

壁面プレートを壁に取り付けます。落下の危険が無いように、間柱等、しっかりとネジが効く形で設置してください。

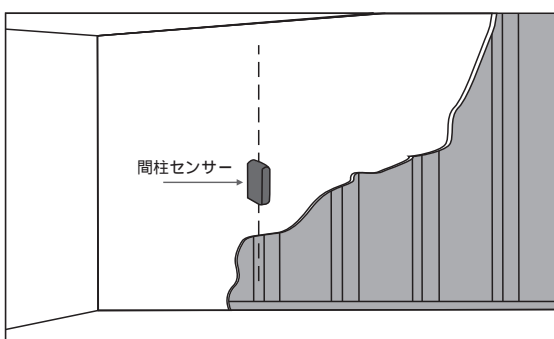
コンクリート壁の場合



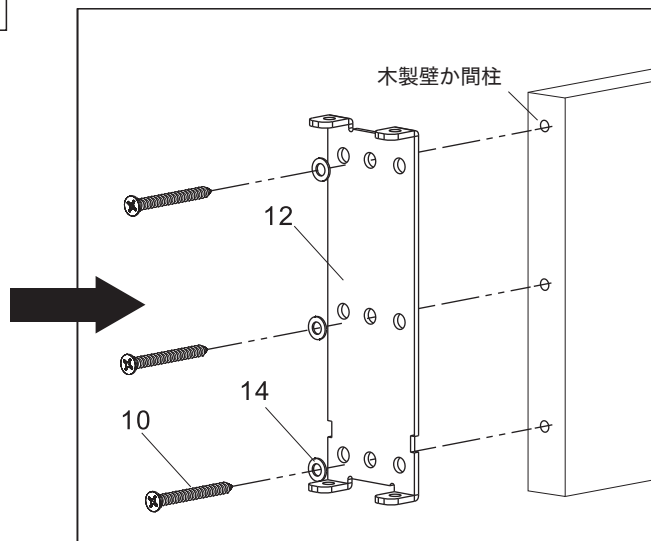
ドライウォールの場合



壁裏の間柱に設置する場合



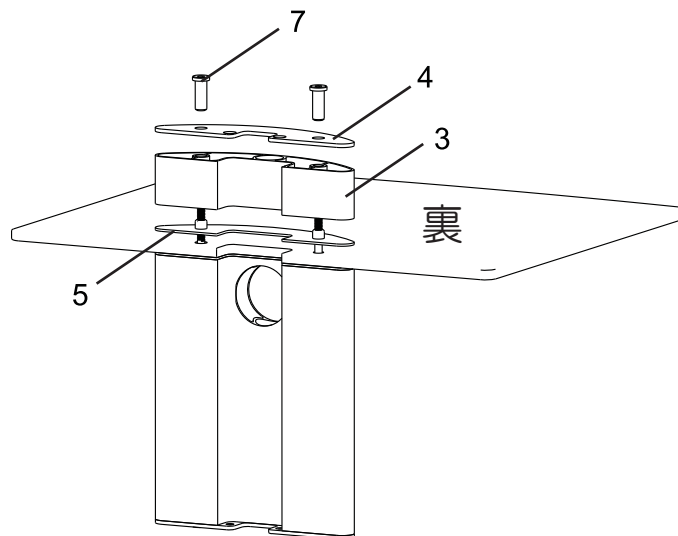
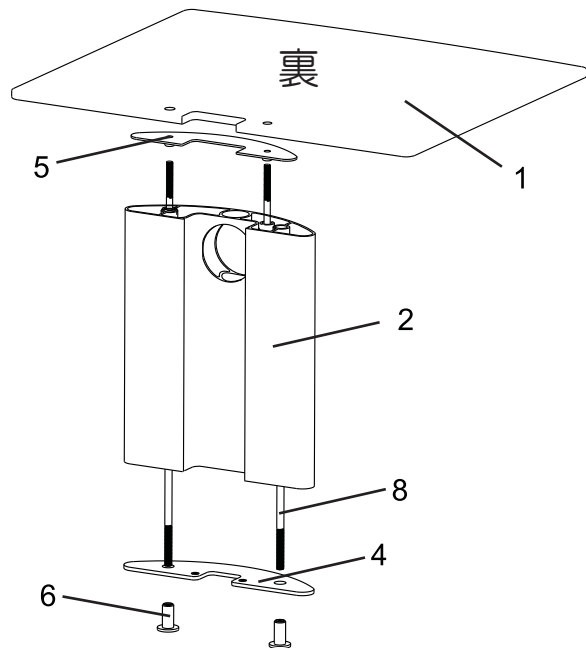
間柱（スタッド）センサーやキリ等を使って、石膏ボード等の裏にある間柱を見つけましょう。間柱に対して壁面ボルト（10）を打ち込まないと十分な強度が得られません。



ステップ2 シェルフ部の組立

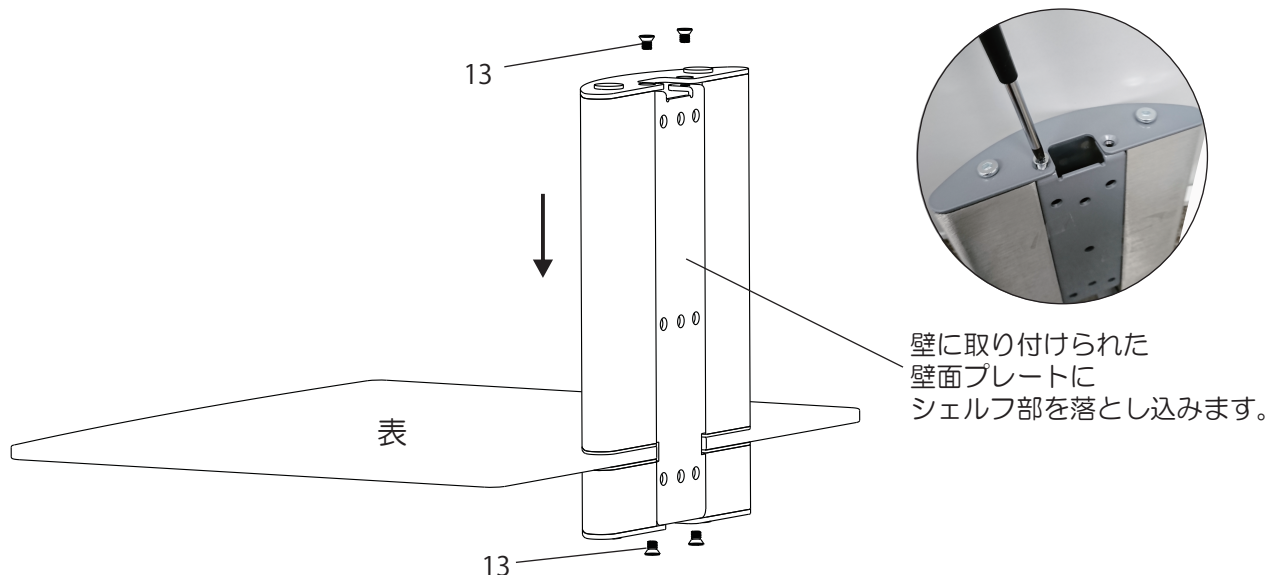
下図を参考にして、しっかりと組み立ててください。最後にボルトを締めると、それぞれのパーツが固定されます。

※ガラス板には裏表があります。
反射する方が表です。
組み立ては裏側に行ってください。



ステップ3 シェルフ部壁への取り付け

図を参考に、上からシェルフ部を壁面プレート上部に落とし込みます。取り外しを考慮して壁面プレートと支柱の溝にゆとりがございますが、しっかりシェルフ部を支えながら、部品ナンバー13のネジで壁面プレートと本体上下に空いている2カ所のネジ穴をしっかりと固定します。



ご注意



最終的にしっかりと組立・取り付けが行われているか確認してください。
少しでも不安点があった場合、お近くの内装業者・電設業者様にチェックの依頼をしてください。